

丹波市議会だより

たんばりんぐ

令和 5 年

4

No.73

TAMBA CITY

6月

9月

3月

12月

定例会は
年 4 回



画：兵庫県立柏原高等学校 美術部



たんばりんぐ

CONTENTS

P2 新年度予算を ピックアップ

- P 8 ココがギロンの論点
- P 9 議案の審議結果

P10 ココが聞きたい！一般質問

P18 市民との意見交換会の
お知らせ

Open!

3月定例会での中心議題は令和5年度予算案の審査です。総予算規模は621億円。皆さんの声は反映されているでしょうか？

令和5年度予算から、これまで議会で提言してきたことが反映された3つの施策をご紹介します。

【令和3年3月】
予算審査意見書でこども医療費の所得制限撤廃を提言



【令和4年6月】
民生産建常任委員会調査報告として、子どもに差をつけない医療費無料化を提言



【令和2年3月】
予算審査意見書で子育て支援の観点から公園整備を総合的観点で進める必要性を指摘

【令和3年2月】
丹波市「都市・自然環境を活かした公園整備方針」策定

【令和3年12月】
「オーガニック給食の実現に向けて取り組みを求める請願」を賛成全員により採択



【令和5年2月】
丹波市教育委員会「第3次丹波市学校給食運営基本計画」策定

こども医療費所得制限撤廃！

令和8年6月まで幼児医療費の所得制限が撤廃されます。併せて、高校生までの医療費無料化も実現しました。



子育て視点からの公園整備が充実！

スポーツピアいちじま児童公園、青垣児童公園、山南中央公園など、子育て支援の視点からの公園整備が進みます。



学校給食での有機米利用が拡充！

丹波市としてオーガニックビレッジ宣言が行われ、学校給食での有機米利用による普及啓発が進みます。



「ギインの視点」で 新年度予算を 厳しくチェック！

6年ぶりの大雪で混乱 市の除雪対策はどうなっていたか？

令和5年1月24日から丹波市内全域が大雪に見舞われたこともあり、除雪に関する質疑が多くありました。



問 大雪被害の道路通行支障物撤去費の補助金交付要綱の見直しが必要ではないか。

答 自治会等が行う除雪にかかる補助は市内で12件の申請がありました。今後にご活用していただけるように周知してまいります。なお、現要綱において、改善すべき点、検討すべき点がありましたら今後検討してまいります。

問 路線計画だけではなく、自治会と市との役割分担の明確化等を含む総合的な「除雪計画」が必要ではないか。

答 市内の安全な通行確保のために現在の「除雪計画」があります。現在、路線計画については見直しの検討はございませんが、できることは何かを考えていきます。

高校魅力化支援事業等は丹波市の児童生徒のための事業か？

教育委員会が行う高校魅力化支援事業等に関して、丹波市の児童生徒の最善の利益につながるか、議論になりました。



問 「高校魅力化支援事業交付金」について、県の教育委員会と役割分担ができていないか。

答 県教委と相談しています。丹波市からは、直接高校にではなく、氷上西高校と地元団体等で構成する実行委員会形式の組織に補助します。今回はeスポーツ部の設立支援に使われますが、今後、柏原高校や氷上高校についても相談を進め、内容が固まれば、同様に地元団体との組織を設立いただき、そこに対する支援を行いたいと考えています。

問 拡充される「小・中学生、高校生全国大会出場激励金」では市外の学校に進学した子どもたちに対象を拡げ、市外強豪校等で活躍することを激励するように受け取れる。そちらとこの高校魅力化支援事業は目的が正反対ではないか。

答 丹波市の子どもたちを応援したいと考えてのものです。どちらも最終的に市内の児童生徒に活躍する先輩に憧れる気持ちを持ってもらいたいと考えており、目的は同じ方向を向いていると考えています。

議員が注目する 新年度事業

議員の視点

3月定例会では令和5年度予算について慎重に審議しました。
今回は、新年度の事業の中で各議員が特に注目した事業とその
事業を選んだ理由についてご紹介します。

 おがわしょうさく 小川庄策 議員	● 高校魅力化支援事業交付金 ● 高校生までの医療費無料化 ● 青垣児童公園の整備	・市内3校の魅力度UPに期待！氷上西高は2年後に創立50周年を迎える。地域で活躍する生徒は、まさに「輝く地域の星」である。 ・国に先駆け、丹波市独自で実施！ ・安心して遊べる公園に期待！
 おくむらまさゆき 奥村正行 議員	● 「書かない窓口」の実現に向けた取組 ● キャッシュレス決済の推進 ● J-クレジットプロジェクト計画の策定	タブレットの活用で発行時間短縮、職員の削減などが期待できる。財源は情報基盤整備基金でほとんど賄われ借入金もなく、国が推し進めているデジタル化事業関連であり国の交付金も期待できると考えられる。
 わたなべひでゆき 渡辺秀幸 議員	● 高校生までの医療費無料化 ● 地域再生アドバイザーの派遣	・国が異次元の少子化対策と銘打って計画していることに先駆け、市が実施することは大いに期待するところである。 ・市の周辺部においては特に重要な施策である。今後さらに充実されたい。
 すはらやよい 須原弥生 議員	● 出産準備・子育て応援給付金 ● 仕事と家庭の両立支援休暇取得奨励金 ● 高齢者の外出支援	国の子育て応援給付金を活用し、経済的支援と相談事業の更なる充実で安心して妊娠・出産・子育てできる仕組みづくりに期待。働きながら子育てをするためには、休暇取得の支援と市内企業への雇用支援は重要。
 ふじわら さとる 藤原 悟 議員	● 安心して妊娠・出産・子育てができる支援の充実 ● 仕事と家庭の両立支援休暇取得奨励金 ● 地域再生アドバイザーの派遣	共働きの世帯が増加している中、安心して出産・子育てができる支援や仕事と家庭の両立支援が重要である。人口減少・高齢化が進む中、自治会のあり方を早急に検討すべきであり、そのための指導・助言等の支援が必要。
 こはしあきひこ 小橋昭彦 議員	● オリジナル学習教材「STGsゲーム」の作成 ● 「書かない窓口」の実現に向けた取組 ● オーガニックビレッジ宣言	「施策にSDGs導入を」(2019年3月)「スマートシティを先導すべく備えを」(2019年12月)「有機農業推進戦略の立案を」(2021年9月)と一般質問で提案してきたことが形になりつつあるように感じている。

若者定住奨励金の対象者 なぜ30歳未満なのか？ なぜ5年度から変えられないか？

DOCUMENT
ドキュメント
3月議会

「若者定住奨励金」の交付には「正規雇用」「30歳未満」などの要件がありましたが、250人の予算枠に33件の申請しかなく、3月で2,000万円の減額補正がされました。
また、同様の目的で新設された「若者定住マイホーム取得補助金」等は対象の年齢を原則「40歳未満」としており、整合性が取れていない点を指摘しました。

問 「若者定住奨励金」を制度設計する際、対象者である若者の話を聞いていなかった結果、減額補正に繋がっている。何事においても対象者の話を聞き、相手の考えや気持ちを受け止めるべきではないか。

答 今後は対象者の考え、思いをしっかりと理解したうえで、制度を新設したり、見直したりしていきたいと思っています。

問 「若者定住奨励金」と同様の目的で新年度から新設された補助金の対象年齢と整合性が取れていない。これら新制度が登場する令和5年度のタイミングで「若者定住奨励金」の対象者も40歳未満に変更しないと、市民の理解が得られにくいのではないか。

答 「若者定住奨励金」は申請受付が令和4年10月開始でまだ1年も経っておらず、実績の詳細を確認できていません。令和5年度には奨励金を交付した方へのアンケートなど調査研究を予定しています。それを踏まえて見直し、検討したいと思います。

高校生までの医療費無料化 なぜ期間を区切る？

0歳から小学校3年生までの医療費の自己負担額を無料とする期限を令和8年6月30日まで延長するとともに、経済的な負担軽減を図るため所得制限を撤廃し、高校3年生まで拡充する提案がありました。



問 子育て施策として、3年間ではなくて将来にわたる制度にできないか。

答 今後の医療費の動向、市の財政状況、子育て支援施策としての評価を総合的に検証することが必要であり、今後の国の動向も踏まえ検討します。

問 国の子育て支援が充実すれば、今回の無料化などの施策が全国で標準化されるだろう。今後の丹波市独自の子育て支援をどう考えているのか。

答 丹波市で父になりたい、母になりたい、子育てがしたいと思ってもらえるまちにしたいと考えています。そのために市民の声に寄り添い、実現的・継続的な支援を関係部署と協議していきます。

■新年度注目事業		
 にしもとよしひろ 西本嘉宏 議員	● 地球温暖化対策実行計画の策定 ● 高校生までの医療費無料化 ● オーガニックビレッジ宣言	・2050 年ゼロカーボン実現へ市民、事業者、市がそれぞれ取り組む計画を作り実行を。 ・子育て支援の充実、所得制限の撤廃は大歓迎 ・持続可能な農業実現へ「有機農業実施計画」により「オーガニックビレッジ宣言」を行う。
 おた いっせい 太田一誠 議員	● J-クレジットプロジェクト計画の策定 ● 「書かない窓口」の実現に向けた取組 ● 高校生までの医療費無料化	加速する人口減少社会においてデジタル技術を活用し、暮らしやすい地域の構築と移住・定住の促進や子育てしやすい環境を目指すことで、誰もが住み続けたい、住み続けられるまちとなることを期待する。
 おた けいいちろう 太田喜一郎 議員	● 地球温暖化対策実行計画の策定 ● J-クレジットプロジェクト計画の策定 ● 設備投資支援事業補助金	脱炭素社会に向け、市民に協力してもらう「丹波市ゼロカーボンアクション」だけでなく、太陽光発電の地産地消事業や市有林から私有林へと森林整備を広げる施策展開で、市内経済の活性化に繋がることを期待する。
 さかい こうじ 酒井浩二 議員	● 観光振興に向けた周遊促進 ● 高校生までの医療費無料化 ● 設備投資支援事業補助金	ポストコロナにおける社会活動の活発化と2025年大阪・関西万博を機に丹波市の魅力ある資源を活かし観光客の誘客と地域消費の促進など商工業・観光振興を戦略的に展開し地域活性化に取り組む事業が重要である。
 あだち よしまさ 足立嘉正 議員	● 高校生までの医療費無料化 ● 高齢者の外出支援 ● 設備投資支援事業補助金	ライフステージのニーズをきめ細やかに捉え、子どもを安心して産み育てるまちの実現。高齢者の社会参加を促す高齢者福祉の増進。企業を元氣する取組等により「市民満足度の向上」に繋がる施策を期待する。

予算決算常任委員会で出た 審査の主な意見

予算執行するにあたっては、下記の意見を十分勘案するよう市当局に申し出ました。

1 若者定住奨励金

新規施策「U・Iターン推進事業」との対象年齢に違いがある。施策を執行する際は、移住希望者が混乱しないように周知されたい。



2 高校魅力化支援事業交付金

・丹波市の児童・生徒の最善の利益となるように執行段階で配慮されたい。
・「小・中学生、高校生全国大会出場激励金」は、市外に出て活躍することを激励する方向である一方で、「高校魅力化支援事業交付金」は、市内の高校への入学を促す方向である。二つの施策が違う方向を向いていると誤解を与えないように周知されたい。

3 高校生までの医療費無料化

子育て支援の観点から、国の動向を見据えながら市として適切な対応をされたい。

4 除雪車、小型除雪機の購入

路線計画だけではない除雪計画を策定し、自治会としてどのような対応ができるか検討できるよう事前に周知されたい。

■新年度注目事業		
 まえがわしんぺい 前川進介 議員	● オリジナル学習教材「STGs ゲーム」の作成 ● 高校生までの医療費無料化 ● オーガニックビレッジ宣言	どのような教材が出来上がるのか未知数だが、今の時代に呼応した教材をゼロから創ろうとするクリエイティブな機運が、今の教育委員会内にあることに最大の賛辞を贈りたい。医療費無料化は、やっと…。
 おにし ひろみ 大西ひろ美 議員	● 高校生までの医療費無料化 ● 安心して妊娠・出産・子育てができる支援の充実 ● 高校生によるヤングケアラー啓発作品の制作	子育てにおいて、こどもの身体は一番の心配事。その「こども達の健康を市が守ります!」という、とても心強い支援策であり、保護者にとっても大きな安心へと繋がります。子育てに優しい丹波市へと大きく前進。
 やま なたけい 山名隆衛 議員	● 市島複合施設の整備 ● 文化ホールの運営委託 ● オーガニックビレッジ宣言	利用者のニーズに応え市民にとってより利便性の高い複合施設にして、人が集える施設になることを期待する。文化ホールの高い専門性と市民参画運営の効果的・安定的な運営継続が望まれる体制に期待する。
 こんどうのりお 近藤憲生 議員	● 山南中央公園の移転整備 ● 高校魅力化支援事業交付金 ● 若者定住促進家賃補助金	当公園は運動・健康・休養・体験と子育て支援の複合機能を持つ総合運動公園であり、市内はもとより市外からの利用客の増加を図り関係人口の増加及び地域の活性化に大きく期待するものである。
 たにみづゆういち 谷水雄一 議員	● 地球温暖化対策実行計画の策定 ● 若者引越支援補助金 ● 除雪車・小型除雪機の購入	・なぜ、これが市内経済活性化に向けた筆頭施策なのか。 ・地元を離れず頑張っている若者への支援はないのか。 ・青垣地域以外への対応は。6年前の教訓を踏まえた通学路安全対策へ。除雪計画の見直しも視野に。
 ひろた まゆみ 広田まゆみ 議員	● 安心して妊娠・出産・子育てができる支援の充実 ● J-クレジットプロジェクト計画の策定 ● デマンド（予約）型乗合タクシー運行システムの更新	子育て支援を経済支援と相談支援で一体的に。温室効果ガスの吸収量をクレジット化し、森林管理の活動に新たな価値を創出する。デマンド予約がパソコンやスマホから24時間可能、従来の電話予約も可能で利用しやすく。
 よしづみ つよし 吉積 毅 議員	● デマンド（予約）型乗合タクシー運行システムの更新 ● 観光振興に向けた周遊促進 ● 青垣児童公園の整備	Web予約などデマンドタクシー運行の使いやすいデジタル化を注視。2025 年大阪・関西万博に向け丹波市らしい地域資源の魅力発信を一刻も早く実行へ。住んでよかったと思える子育て、憩いの公園整備の推進を。
 にしわきひでたか 西脇秀隆 議員	● 高校生までの医療費無料化 ● 山南中央公園の移転整備 ● J-クレジットプロジェクト計画の計画の策定	・子育て支援の立場から大いに歓迎したい。 ・山南地域中学校統合のため、閉校となる和田中学校に中央公園を移転拡充するもの ・森林環境譲与税を活用して、森林整備等を行い二酸化炭素吸収を増やすもの

■議案の審議結果

全員賛成で可決した議案

1月臨時会

議案	
令和4年度補正予算	○ 一般会計（第7号）
	○ 看護専門学校特別会計（第4号）

3月定例会

議案	
人事案件	○ 人権擁護委員の候補者の推薦4名
	○ 農業委員会委員の任命23名
	○ 議会運営委員の選任 奥村 正行 氏
令和5年度当初予算	○ 一般会計
	○ 国民健康保険特別会計事業勘定
	○ 国民健康保険特別会計直診勘定
	○ 訪問看護ステーション特別会計
	○ 地方卸売市場特別会計
	○ 駐車場特別会計
	○ 看護専門学校特別会計
令和4年度補正予算	○ 水道事業会計
	○ 下水道事業会計
	○ 一般会計（第8号）
	○ 一般会計（第9号）
	○ 国民健康保険特別会計直診勘定（第5号）
	○ 介護保険特別会計保険事業勘定（第5号）
	○ 後期高齢者医療特別会計（第2号）
	○ 訪問看護ステーション特別会計（第4号）
	○ 看護専門学校特別会計（第5号）
	○ 水道事業会計（第5号）
	○ 水道事業会計（第6号）
	○ 下水道事業会計（第3号）



議案	
条例制定	○ 児童福祉施設等の設備及び運営に関する基準の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
	○ 懲戒権に関する規定の見直しに伴う関係条例の整備に関する条例
	○ 新型コロナウイルス感染症の影響に伴う関係条例の整備に関する条例
条例改正	○ 定住促進住宅の設置及び管理に関する条例
	○ 市職員の給与に関する条例及び会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例
	○ 市営自転車等駐輪場条例
	○ 国民健康保険税条例
	○ 国民健康保険条例
	○ 福祉医療費助成条例等
	○ 下水道条例
廃止例	○ コミュニティ・プラント及び農業集落排水処理施設条例
	○ 交通安全基金条例
その他	○ 山垣辺地に係る公共的施設の総合的な整備に関する財政上の計画の策定
	○ 権利の放棄
	○ 市立農の学校に係る指定管理者の指定
請願	○ 消費者被害を防止、救済するため特定商取引法の抜本的法改正を求める請願
意見書	○ 「特定商取引法平成28年改正における5年後見直しに基づく同法の抜本的改正」を求める意見書
発議	○ 市議会の個人情報の保護に関する条例の制定

議案の審議結果

「燃やすごみ袋」の半額化を求める請願賛成少数で不採択

燃やすごみ袋の半額化を求める請願が、賛同署名 9,296 筆を添えて提出されました。請願趣旨の中には、「多くの市民は半額化を望んでいる」「コロナ禍・物価高騰により市民生活の負担軽減を」「近隣他市と同程度の半額化に」などがありました。

今、採択することの影響、そして時期は

賛成

- ・一万筆近い賛同署名を重く受け止めた。
- ・減量化の目標の達成が見込まれれば、半額も可能ではないのか。

反対

- ・令和8年度の一人当たり排出量目標値をクリアすることが絶対。
- ・今、採択するとこれまで市が行ってきた減量施策を止めることになるのではないのか。
- ・その他のごみ袋の検討時期と同時に、燃やすごみ袋の価格を検討してもよいのではないのか。

「ごみ減量を進めながら市民負担の軽減を」当局への決議案を採択

半額化にこだわらず、ごみ減量と整合性をとりながら負担軽減を進めるよう求める決議を、賛成多数で採択しました。

燃やすごみ袋の料金は、近隣自治体と比べても2倍近い料金となっており、引き下げてほしいという要望が市民から出ている。

クリーンセンターにおける処理量は限界に近い。令和9年度からは山南地域のごみを処理する計画になっており、今後一層の減量化を推進し、ごみ処理を安定化させなければならない。

ごみ袋料金は「丹波市廃棄物の適正処理、減量及び再利用に関する条例」の中で減量施策の一環として位置づけら

3月定例会

ココがギロンの論点!



趣旨採択の是非

賛成

- ・本請願の願意をくみ取り、趣旨採択や実施時期などの「意見」を付すことで採択に賛同することはできないのか。

反対

- ・趣旨採択といえども「実現の可能性が高いか」、「緊急性や重要性及び財政事情が妥当か」などからみて、厳格に判断すべきである。
- ・願意である半額を趣旨から外せない。近隣他市と同程度であれば半額である必要はなく、趣旨採択は難しい。

趣旨採択：請願の願意は妥当であるが、実現性の面で確信が持てない場合に、不採択とすることもできないとして採られる請願に対する決定方法

れていることから、議会ではこれまで、ごみの減量施策と整合したごみ袋料金改定の必要性を指摘してきた。

令和4年9月には「ごみ袋半額化」に関する2回目の提案がなされたが、1回目と同じ提案主旨かつ補足の説明もない提案であり、1回目提案の否決時に示された懸念に真摯に向き合われたか疑問が残るところであった。

今後当局においては、ごみの減量化を一層進めながら、市民の期待に応え、半額化にこだわらず、燃やすごみ袋料金の引き下げを含むごみ袋料金体系全体の見直し及び各種施策を通し、結果的に市民負担の軽減につながるよう検討することを求める。

※ ○は賛成、●は反対、■は賛成・反対討論を行った議員。
※ 議長は議事進行を行うため、特別多数議決を除き原則として採決には加わりません。
賛否同数の場合のみ議長は裁決を行います。
※ 同意第18号：対象者が小橋議員の親族に関係するため、退席しました。



審議結果

代表質問



国道 429 号を補完する市道の様子

問 本年着手した国道 429 号を補完する今後の道路整備計画の考え方は。

答 森文室線は道路整備計画に位置づけられていません。国の補助金採択率が低く道路整備計画路線を重点的に進めております。人口減少社会問題は、最小の経費で最大の効果を先駆的にどこから始めるのか。

答 移住・定住施策や子ども・子育て支援策、働く場所の確保など多岐の施策に取り組んでおり、特に令和 5 年度は人口減少や担い手不足が著しい過疎地域に特化した丹波移住テラスへの人員配置など、地域活力の創出・拡大に向けた施策を行い、人口減少対策につなげていきます。

問 デジタル技術を活用すること、多くの市民意見を聴けているか。

答 デジタル技術を活用したアンケートなどを実施し、幅広く市民の声を聴くことで、計画や施策展開に反映しています。

新風クラブ



おた いっせい
太田 一誠 議員



施政方針「前進の年」とはどんな思いなのか

丹新会



たにみず ゆういち
谷水 雄一 議員



令和 5 年度施政方針の特色は

問 なぜ、「ゼロカーボン」に向けた取組が社会経済活性化につながるのか。

答 グリーン成長を考える上では、社会構造を変えなければなりません。既存の考え方に捕らわれず、新たな価値観が求められることから、結果、活発化するであろうと考えられています。

問 農業・林業が施政方針にないのはなぜか。

答 農業・林業ともにしっかりと具体的な施策や予算は考えています。市民の理解につながる情報発信に努めます。

問 近年頻発する自然災害や近い将来心配されている南海トラフ地震への対応方針は。近隣市町や県との連携は。

答 自助・共助の力が最も必要です。引き続き市民への防災意識を高める取組をします。南海トラフ地震には、県内の防災拠点としての位置づけを想定し、準備を進めていきます。



脱炭素に向けた「カーボンニュートラル」(イメージ)
出典：環境省 脱炭素ポータルサイト

創生会



こんどう のりお
近藤 憲生 議員



貸し出す小型除雪機等の管理は市が行うのか

問 除雪車は受託事業者に、小型除雪機は自治協議会への貸出となるが、管理は。

答 除雪車については市道除雪作業を受託した事業者へ貸与することとしており、受託期間中における管理は事業者で行うことができます。また、自治協議会等へ貸し出す小型除雪機については、作業にかかるガソリン代やメンテナンス費用等は市で負担することとし、除雪作業は自治協議会等に協力をいただく予定としております。

問 青垣地域以外への貸出も考えているのか。

答 青垣地域は、豪雪地帯に指定されており、加えて過疎化によりこれまで自助で行われていた除雪作業が困難になりつつある状況から、安全な交通確保のための除雪作業が課題とされており、過疎地域持続的発展計画の中で除雪機械の導入に取り組みむものであり青垣地域以外への貸出は考えておりません。



大雪で活躍する除雪車

ココが聞きたい！一般質問

一般質問は、議員が自分なりの問題意識を市政に投げかけ、市の見解を直接求めることができる唯一の機会です。私たちの生活にかかわることについて質問や提言を行いました。

テーマは自由

質問する内容は、議案とは関係なく議員が自由に決め、「通告書」に書いて締切日までに提出します。

制限時間は 60 分

一人あたりの制限時間は、市からの答弁も含め 60 分です。

ホームページに質問項目を掲載

質問項目は、事前にホームページに掲載。また、傍聴者には、質問要旨をお渡ししています。



一般質問の様子(ライブ中継・録画映像)は市議会ホームページからみることができます。
[検索ワード] 丹波市議会インターネット中継

日本共産党議員団



にしもと よしひろ
西本 嘉宏 議員



「オーガニックビレッジ宣言」について

問 「有機農業実施計画」の策定と「オーガニックビレッジ宣言」についてどうか。

答 「有機農業実施計画」は「懇話会」での審議を踏まえ、現在最終調整を行っております。これに基づいて、「オーガニックビレッジ宣言」を行います。販路拡大では、共同流通プラットフォームの実証実験などを行います。

問 土地の有効利用や住民説明など様々な視点から調整し、令和 5 年度中に提案します。

答 移住・定住と小学校統合は矛盾するのでは

問 移住・定住の推進や「子育て環境づくり」と小学校統廃合は矛盾しないか。改めて小学校統合後の「検証」を行い、新たな統合は見直すべきでは。

答 小学校統合協議は「第 2 次丹波市学校適正配置・適正規模方針」に基づくもので、地域合意のもと協議に入る予定です。また、学校統合の「検証」は困難であることから行う予定はありません。

公明党



ふじわら さとる
藤原 悟 議員



次年度予算・施策は総合計画に則っているか

問 予算・施策は市の最上位計画である総合計画に則るべきである。総合計画(後期基本計画)の「まちづくり目標」にある「防災」、「農林業の中の林業」には、次年度どのように取り組むのか。

答 防災については、防災訓練の指導や防災リーダーの養成、避難行動要支援者への対策など自主防災組織との連携強化、また、地域防災計画の改定等、防災・減災に向けた体制づくりを強化していきます。

問 自治会では役員の負担軽減への取組は。

答 市から各自治会に選出をお願いしている役職や依頼事項の見直しを進めています。審議会委員等については、住民自治に関する選出委員について、各所管部署での精査と検討を進めるとともに、公募委員の選考を増やすことも必要と考えます。

問 緊急里山林整備事業を始めとした未整備林整備や市産材利用拡大に取り組めます。

答 総合計画の施策展開、関連する個別計画の視点を踏まえています。



市役所職員の価値観を押し付けられないで

ご指摘いただいたことを政策立案のヒントにします。



今時の若者は複数の仕事を掛け持ちするなど、多様な生き方を求めているが、今年度設立された「若者定住奨励金」では、要件に「正規雇用」など公務員の価値観を押し付けた。結果的に250件を見込んだ応募が33件に止まり、2千5百万円中2千万円が減額補正され、2千万円分の仕事ができている。もつと対象者の声を聞くべきだ。

今年度の会議では、若者の生き方が変わってきていることが議題に上がりました。ご指摘内容を政策立案のヒントにします。

ボトムアップのマネジメントは機能してる？

市職員が研修で使っている、マルチが放置されたままの農地がある。これは行政の責任で除去すべきだと農家からの訴えが市長にも直接あったはずだが、担当課に任せきり。農家が担当課に除去を訴えても聴く耳すら持ってもらえていない。市民サービスが低下しないように配慮を願う。

問題については、担当課から報告を受け、解決しているという認識でしたが、再度現場を確認のうえ、きちんと対応するよう指示をします。

市島地域から丹波医療センターまでバス運行の社会実験が実施されました。住民としては乗り換えなしで病院に行ける事を望んでいる。本格ルート化を望む。

今回の実験結果で72名のご利用がありました。今後、丹波地域公共交通活性化協議会の検証を基に地域の様々な状況把握に努め、旧地域のバス路線空白地域の解消が図られるよう、検討を進めてまいりたいと考えております。

コロナ禍で進む住民同士の対話、つながりの減少を打開するものは

近年のコロナ禍によって様々な生活様式や住民の繋がりが、伝統文化の衰退が見受けられる。市の施策等によって市民に活力を与える事はできないか。

これまで親睦や交流の機会を通じてコミュニケーションをとっていた住民同士の繋がりがや自治会の話し合いの場が減少していることは大きな課題です。地域での事業再開や話し合いの持ち方、地域の将来のあり方などのご相談に応じ、繋がりがづくりやコミュニティ形成のための取組が行われるよう啓発や支援を行います。



市島発、病院行きバスの本格走行可能性は

公共交通活性化協議会の検証を基に状況把握し検討を進めます。



電気代・物価高騰対策を

国・県の動向に注視し、必要ならば迅速に対応します。



電気代の値上がりや物価が高騰している。市として昨年のような物価高騰対策ができないか。

国・県の支援策や施策の財源となる交付金の動向を注視しながら、効果的な事業者支援、市民生活支援を必要に応じて講じていきます。

福祉の重層的支援体制整備事業について

令和3年の社会福祉法改正による重層的支援体制整備事業はどのようなものか。

全国的に地域住民が抱える課題が「複雑・複合化」しており、従来の高齢者障がい者及び生活困窮者などの属性又は制度による縦割りの支援体制では、対応が困難な事例が増えてきています。現在、この事業に取り組む方向で調査・研究しています。



高齢者にやさしい社会

国・県の支援策や施策の財源となる交付金の動向を注視しながら、効果的な事業者支援、市民生活支援を必要に応じて講じていきます。

今時の若者は複数の仕事を掛け持ちするなど、多様な生き方を求めているが、今年度設立された「若者定住奨励金」では、要件に「正規雇用」など公務員の価値観を押し付けた。結果的に250件を見込んだ応募が33件に止まり、2千5百万円中2千万円が減額補正され、2千万円分の仕事ができている。もつと対象者の声を聞くべきだ。

今年度の会議では、若者の生き方が変わってきていることが議題に上がりました。ご指摘内容を政策立案のヒントにします。

ボトムアップのマネジメントは機能してる？

市職員が研修で使っている、マルチが放置されたままの農地がある。これは行政の責任で除去すべきだと農家からの訴えが市長にも直接あったはずだが、担当課に任せきり。農家が担当課に除去を訴えても聴く耳すら持ってもらえていない。市民サービスが低下しないように配慮を願う。

問題については、担当課から報告を受け、解決しているという認識でしたが、再度現場を確認のうえ、きちんと対応するよう指示をします。



令和5年度施政方針の取組と主要施策を問う

「市民と企業が元氣な丹波市」をめざしてまちづくりを進めます。



2025年大阪・関西万博の「ひょうごフィールドパビリオン」に市として連携や取組はあるか。

観光資源の発掘や既資源の磨き上げにより観光振興に向けた周遊促進と県の取組を見ながら誘客、情報発信など具体化していきます。

国土強靱化インフラ整備の財源確保はできているか。

国の交付金や有利な地方債借入れなど、様々な財源を活用し事業を進めます。

自治会・地域が抱える諸問題に相談できる体制は整っているか。

市民と行政が共通認識を持ち自治会や諸団体が協働し地域課題の解決を図ります。

教育重点施策「フィールドを活かした教育の推進」とは。

自分たちの住む地域の魅力や良さ、課題について学ぶ中で、地域への愛着や誇りを育んでまいります。

丹南精明園の整備計画と施設規模について把握しているか。

施設の完成は令和7年3月で、同6月頃には施設運営が開始される予定と伺っています。施設規模は鉄筋コンクリート造りの地上2階、延べ床面積5,956㎡です。利用者人数は施設入所の定員が96人、短期入所の定員が4人、日中生活介護の定員が110人、職員は総勢100人程度となる予定と伺っています。

丹南精明園の移転による効果は。

丹波市の障がい者の方が利用できるサービスが増えると考えています。

また、地域に親しまれる施設になることを期待しています。

健康福祉公園を再整備できないか。

一般市民の利用を望むことは困難であり、再整備について検討・計画することは考えていません。

離婚後、父母が子どもを中心に考えるということについて

親権や面会交流の相談はあるか。

面会交流の相談が1件のみです。相談者に寄り添いながら「こどもを中心に」ということを念頭に相談にあたっています。



丹南精明園の開設について市の認識は

今後の丹波市の障がい福祉施策の充実に繋がると考えています。



衛生面の配慮、保護者・保育者の負担軽減のために、各園で紙おむつ処分ができるよう、整備等の費用に補助はできないか。

市内13園中9園が園で処分されており、4園でも検討が進んでいます。園で処分するための保管場所等の整備費用に対して国庫補助事業がありまう進めていきます。

帯状疱疹予防ワクチン接種に助成を！

帯状疱疹ワクチンは全額自己負担の任意接種である。予防効果は高いが、高額な不活化ワクチン接種に助成制度の導入ができないか。

国の審議会で、接種に最適な対象年齢や効果、安全性の議論が行われ、定期接種化に向けて検討が行われています。今後国の動向に注視していきますが、現段階で導入は考えていません。

水道料金の基本料金の再免除を！

物価高騰対策として水道料金の基本料金の再免除はできないか。

前回の免除は国の交付金を財源に実現しました。物価高騰は続いています。補てんする財源がないので免除は困難です。



こども園の紙おむつ処分に補助を

保管場所等の整備に国庫補助事業を活用してサポートします。





ゼロカーボンアクションの推進、周知、評価は

推進・周知は広報紙等で発信し、アンケート調査などで評価します。



問 地域の再エネ電源を調達し地域に供給する「地域新電力」を立ち上げ再生可能エネルギー電力を公共施設等に供給して脱炭素化に取り組めないか。

答 民間事業者との連携も含め電力事業の在り方について研究します。

問 公用車のEV（電気自動車）の導入はどうするのか。

答 今後も公用車を導入する場合は、電気自動車の導入についても検討します。

問 公共施設のLED化の進捗はどうか。

答 施設等の大規模改修時にLED化の検討を進めます。

問 市内事業者のLED化に補助はないのか。

答 丹波市設備投資支援事業補助金交付制度で利用できます。

問 クレジットプロジェクト

答 1ヘクタール当たり5トンから6トンの吸収量を見込んでいます。また、クレジット売却額はトン当たり5,000円から7,000円の間で市況で取引されています。

地域新電力：地域内の発電電力を最大限に活用し主に地域内の公共施設や民間企業、家庭に電力を供給する小売電気事業者のこと



利用者のニーズに応える市島複合施設に

利便性の向上を目指し、支所・体育館・多目的スペースを整備します。



問 せっかく新しく作る施設だけに支所機能と体育館機能、そして住民センター機能を合わせた市民にとってより利便性の高い新複合施設にしないか。

答 市島複合施設は、様々な施設が集積しており、相乗効果が見込まれる同一集積ゾーン内で整備を行います。支所機能と住民センター機能が分かれませんが、同一集積ゾーン内での整備であり、ライフピアいちじまは、まだまだ利用可能な施設であることから複合施設内に住民センター機能を設けることは考えておりません。

民間及び社協の参入スペースの整備は

問 地元民間事業者の参入により地域の特性を活かした交流人口の拡大や社会福祉協議会と支所との連携による高齢者支援の充実が図れないか。人が集まる施設にしては。

答 行政目的以外に他団体への貸し出しスペースを整備することとは、財政的にも市民全体の理解を得られないと考えることから、今回の複合施設内でスペースの確保はできません。民間事業者の参入による残地活用については、施設の利用状況から検討の可能性はあると考えます。



市政を着実に前進させよう！

市民と企業の元気な丹波市の実現に向けて着実に進んでまいります。



問 人口構造の若返りを見据えた新たな移住者の促進や、まちづくりの循環に繋がる人口誘因や関係人口増加の取組をどのように進めるのか。

答 令和4年2月に策定した丹波市ふるさと移住促進方針の目的に沿って移住希望者のニーズや価値観の多様化に対応するために、これまでの一方だけを見ただけでなく、双方方向を見て部局を超えた横断的な移住施策の積極的な取り組みが必要だと考えております。

問 長引くコロナの影響や資材材料等の高騰等により中小企業者を取り巻く経済環境は、依然厳しい状況にあるが、具体的にどういった施策で企業の元

答 市内企業が元気であり続けるためには「安定した経営」、「人材の確保」、「新規起業への積極的な支援」が課題であると考えております。本年度は、そのような課題解決のための支援策を積極的に講じ、市民と企業の元

気な丹波市の実現に向けて着実に進んでまいります。



教育の将来像に関する議論は十分か

教育委員の専門性や部局を横断した場を活用して深めていきます。



問 「主体的・対話的で深い学び」のある教室の風景をどのように描いているか。

答 教師が教室の後ろに座り、児童生徒が自ら取捨選択した最適な方法で学習することを支えるような形態が定着していくものと考えています。

問 生成AIの登場、人生百年時代の到来など、生きる上で学ぶ力を身に付ける重要性が増している。教育環境の変化や将来像への議論を深めているか。

答 教育委員に経営者の方、医師の方などに就任いただいたのは、まさに多様な視点から議論をいただく

問 今後の、そうした方々の専門性を活かした議論を深めます。

問 学校を核とした地域づくりを謳われている。教育委員会だけではなく広く地域づくりにおける人材育成議論の深まりが欠かせないが十分か。

答 ご指摘の通り社会教育の枠を超えた、地域との連携が不可欠です。今後、生涯学習の推進を図る「丹波市まなびの里づくり協議会」などを通して、部局を超えた横のつながりを強化します。



通学路に対する除雪の考え方について！

通学歩道の除雪は、青垣の限られた路線のみで実施しています。



問 積雪による通学路の安全確保は。

答 除雪については車道を中心に取り組んでおり、通学路や歩道の除雪は、地域のご協力をお願いしたいと考えております。

問 地域への凍結防止剤の配布について

答 市道への散布に限り、各自治会単位で、3袋を限度にお渡ししています。

問 住宅密集地内の市道通学路での除雪

答 撤去助成要綱の「作業委託区間を除く」の見直しの必要はどうか。

問 現要綱において、改善すべき点、検討すべき点がありまして今後検討してまいります。

総合治水対策

問 道路改修事業と合わせた排水対策の考え方について

答 市道特17号線において、実施時には、道路側溝の断面修正などにより、浸水被害の解消や軽減を図るような対策を講じていきたいと考えております。



脱炭素社会に向けた資源ごみの分別を

再資源化は市民の皆様のご理解とご協力で成り立っています。



問 紙おむつを分別回収、再資源化すれば燃やすごみ量の1割ほどを削減でき、可燃ごみ減量目標に近づくのではないかと。また、廃食油の分別回収できないか。

答 可燃物の紙おむつは大きなウエートを占めていますが、先にプラスチック系処理を先行で考えています。

問 紙おむつは今後、必要性・実現性に向け考えていきます。現段階で廃食油収集することは考えておりませんか。

答 海外からの選手参加もあり、マスコミからも注目されています。市も後援して大会の広報活動の支援や公共施設の利用等も協力する予定です。職員にもボランティアとしての協力を呼び掛けております。



紙オムツ専用の袋（鹿児島県志布志市）

こどもの自己肯定感を育む講演会 レポート

令和5年2月4日、こどもの権利に関する理念
条例調査研究特別委員会が「こどもの自己肯定感
を育む講演会 ～ 自己肯定感とこどもの権利～」
を開催し、120名の方にご参加いただきました。



第1部

『子育てハッピーアドバイス』シリーズ
の著者で精神科医の明橋大二先生をお招
きし、自己肯定感の重要性に触れていた
だいた後、こどもの権利を守ることが自
己肯定感を高めることに直結するという
ことをお話しいただきました。

第3部

参加された皆さんに13のグループに分
かれていただき、第1部の講演会と第2
部のパネルディスカッションを聴いた感
想や、ご自身の子育ての反省点、またこ
れから取り組んでいきたい内容などを発
表、共有していただきました。

議員がグループワークで
スムーズな進行ができるよう、
事前にファシリテーション
研修を受けました！



第2部

元認定こども園の園長や児童発達支援
事業所の代表、それに市内で子育て中の
母親にパネリストとしてご登壇いただき、
普段の仕事や日常生活の中で、こどもの
権利をどのように意識しているのか、具
体的な事例をお話しいただきました。

第3部のグループディスカッションで
いただいたご意見全てを後日委員会で取
りまとめ、全員で共有するとともに、分
類分けして全体の傾向を掴む資料として
も活用させていただきました。

「過干渉」がテーマに

特徴的だったのは、「自身の子育てで反
省する点」で「子どもに干渉しすぎた」
という意見が多く挙げられたことです。
この意見を大別すると、「親の考えを押
し付けて子どもの考えを尊重できなかった」
、「世間の目を気にしすぎて子どもの
考えを尊重できなかった」という2つの
観点がありました。当委員会としてこれ
らの観点を今後の条例制定に向けて参考
にいたします。

今後も市民と対話を

トータルで3時間という限られた時間
で行ったため、もっと話したい！という
お声を多数いただきました。当委員会
では、今後もこどもの権利について市民
の皆さんと対話する場を設けていく予定
ですので、その際はぜひお越しいただ
ければと思います。

新しい
会派が
誕生

会派構成が 変わりました

(令和5年3月6日～)

会派名簿（届け出順）		
公明党	須原 弥生	藤原 悟
日本共産党 議員団	西脇 秀隆	西本 嘉宏
創生会	近藤 憲生 山名 隆衛	大西 ひろ美
新風クラブ	太田 喜一郎 酒井 浩二 垣内 廣明	太田 一誠 足立 嘉正
丹新会	谷水 雄一 吉積 毅	広田 まゆみ
こどもとい みらい	前川 進介	小橋 昭彦
無所属の会	小川 庄策 奥村 正行	渡辺 秀幸

委員会構成が 変わりました

議会運営委員会（令和5年3月13日～）

委員長	小橋 昭彦
副委員長	太田 喜一郎
委員	奥村 正行 須原 弥生 大西 ひろ美 谷水 雄一 西本 嘉宏 太田 一誠

農業委員会との懇談会

民生産建常任委員会では2月7日、
『人・農地プランから地域計画へ～ど
うすれば市民が農業に関心を向ける
か～』をテーマに今年も懇談会を行
いました。グループワークでは、若
者を中心とした農業フェスタを大々
的に開催して、農業の魅力をPRし
てはどうか等、夢のあるご意見もい
ただきました！



丹波市農業委員会との懇談会の様子

国に対して

意見書を提出しました

意見書
可決
賛成全員

「特定商取引法平成28年改正における
5年後見直しに基づく同法の抜本的
改正」を求める意見書

1. 訪問販売や電話勧誘販売について、消費者が
あらかじめ拒絶の意思を表明した場合には
勧誘してはならない制度とすること及び事業
者の登録制を導入すること。
2. SNS等のインターネットを通じた通信販売
の勧誘等につき、行政規制・クーリング・オ
フ等を認めること及び権利を侵害された者は
SNS事業者等に対し、相手方事業者等を特
定する情報の開示を請求できる制度を導入す
ること。
3. 連鎖販売取引について、国による登録・確認
等の開業規制を導入すること及び規制を強化
すること。

議員も日々、学んでいます。

議員研修

丹波市・丹波篠山市の合同議員研修
－政治倫理－

弁護士の太田雅幸先生を迎え、全議員
を対象に市当局や市民などへの不当要求
やパワハラ・セクハラ防止など、政治家
として求められる対応を聞きました。「政
治倫理条例は、単なる申し合わせではな
い。違反すると調査手続きに結びつき、
しかるべき責任をとらないといけない。」
といった事例を挙げて、何が問題か
を指摘していただきました。

両市議会が合同で研修することは有意
義であり、今後も共に切磋琢磨してい
きます。



研修を受講する議員（本庁第2庁舎にて）

あなたの声を
聴かせてください

お問い合わせ
丹波市議会事務局
☎ 0795-82-1472



意見交換会

今回のテーマ

With コロナの丹波市における各種課題



防災・地域連携



教育・子育て



観光・産業振興



健康福祉

※ 4つのテーマのグループに分かれて意見交換を行います。

5/15 日 ▶ 5/21 日

午後7時～ (2時間程度)
市民プラザは午前10時30分～5/15 (月) 氷上住民センター
柏原住民センター5/16 (火) 山南住民センター
青垣住民センター5/17 (水) ライフピアいちじま
5/18 (木) ハートフルかすが
5/21 (日) 市民プラザ参加費
無料事前申込
不要

参加時の注意事項

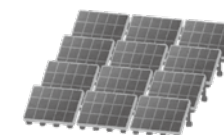
主催者の広報活動、記録のために
録音、撮影をさせていただきます。
また、広報紙に写真を掲載させて
いただく場合もございますので、
あらかじめご了承ください。
参加者による無断録音・撮影は
固くお断りいたします。

託児希望の方へ

市民プラザ会場のみ
託児室を設置します。
5/11 (木) 17:00 までに
議会事務局へ
お申込みください。
※ 費用は無料。
人数制限あり。

前回の意見交換会で出た意見に
対する市からの回答が届きました

意見

太陽光発電に関する条例を
しっかり整備してほしい。回答の全文はホームページに
掲載しています。

回答

現在、市では1,000㎡以上の土地に設置される太陽光発電事業については、開発指導要綱により基準を定め、地盤の勾配、排水能力、周辺の環境保全等に努めるように指導をしています。しかし、地域住民への周知や施設設置後の維持管理等について市民の皆様から相談や苦情が寄せられていることから、条例化を念頭に実効性などを重視しながら「太陽光発電施設と地域環境との共生」に向けた規制のあり方について議論を進めているところです。

表紙の紹介



今月号の表紙は、兵庫県立柏原高等学校美術部の皆さんにご協力いただきました。

表紙画作者：尾上 ひいろ さん (2年)

【表紙画のコンセプト】

春は、卒業・入学の季節です。
桜が咲き誇る中、希望を胸に新しい
一歩を踏み出す場面を描きました。

FM805たんば
「議員さん こんにちは！」で
「たんばりんぐ」情報発信中！

議会をもっと身近に



放送日

4月25日 (火)
午後8時30分～
※再放送は
4月29日 (土)
午後3時30分～

フェイスブックでも
市議会情報を発信中

丹波市議会では、本
会議や委員会の日程の
ほか、市議会からの
お知らせをフェイスブ
ックでも配信しています。

https://www.facebook.com/tamba.gikai/

6 月定例会の日程

日	月	火	水	木	金	土
5/28	29	30	31	6/1	2	3
			本会議 議案提案 9:30～			
4	5	6	7	8	9	10
		本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～	本会議 一般質問 (個人) 9:00～		
11	12	13	14	15	16	17
					本会議 議案質疑 委員会付託 9:30～	
18	19	20	21	22	23	24
		総務文教 常任委員会 9:30～	民生産建 常任委員会 9:30～	予算決算 常任委員会 9:30～	常任委員会 予備日	
25	26	27	28	29	30	7/1
		本会議 議案採決 9:30～				

* 上記の日程は変更になる場合があります。
最新の情報はホームページなどでご確認ください。

本会議や委員会の視聴は
パソコン・スマホ が便利♪

市議会では、本会議や委
員会の様子をインターネッ
トで動画配信しています。
録画映像も公開しており
ますので、見逃した方もパ
ソコン・スマートフォンで
ご覧になれます。
(録画映像は会議終了後、
1週間程度で公開)



動画配信

令和5年1月発行たんばりんぐ72号の
訂正とお詫び

9ページ下段
「インボイス導入延長を」の見出し
正：導入延期
誤：導入延長
訂正してお詫びいたします。

企業誘致に
期待します。

地域の支えあい
行政もしっかり
関わって。



市島地域の
活性化を
図ってほしい。

防災や医療の
広域化をしっかり
考えてほしい。



「竹田 太極拳」の皆さん

地域づくりと健康づくりの一環として、竹田自治振興会に
バックアップしてもらって活動できています。

丹波市と 市議会のココに期待しています！

企業、行政、地域、家庭、
みんなの理解と協力で
ママも子どももここで
暮らしてよかったと
心から感じられる丹波市に
なると期待しています！



市民の力を活かす
取組にもっと
協力してほしい。

子育て中や介護が
必要になったとき
でも柔軟に働ける
環境づくりを。

スキルを磨いて活躍を目指す
「ママパソ」参加者の皆さん

掲載団体募集中！（市内の非営利活動団体に限る）

広報広聴委員会ではこのコーナーに参加いただける団体を募集しています。
ご希望される団体の方は下記までご連絡ください。

※ 個人のコメントであり、団体を代表するものではありません。

発行：兵庫県丹波市議会
編集：広報広聴委員会
〒669-3692 兵庫県丹波市
氷上町成松字甲賀1番地
TEL 0795-82-1472
FAX 0795-82-1523
E-mail: gikai@city.tamba.lg.jp

「発行責任者」
議長 垣内 廣明
「広報広聴委員会」
委員長 山名 隆衛
副委員長 前川 進介
委員 小川 庄策
委員 須原 弥生
委員 小橋 昭彦
委員 酒井 浩二
委員 足立 嘉正

あとがき
3月定例会で審査した
新年度一般会計当初予算
は354億円で、昨年度
より17億円減少していま
すが、この減額は山南中
学校の大規模工事が完了
したことなどによるもの
です。
デザイン性や機能性が
高い山南中学校で、生徒
の皆さんは新しい仲間と
ともに、充実した学校生
活を満喫してください。
丹波市が誕生して、来
年で20年。当時から「心
の合併」が叫ばれました
が、多様な考えを受け止
め合う大人たちの姿を見
ていれば、子どもたちの
心の合併もスムーズにい
くことでしょつ。